

フジオックス・経営改革への挑戦(下)

新会社法で求められる
会計業務のスピード化

新会社法の施行で、企業規模にかかわらずすべての会社が会計業務のスピードを求められるようになってい

フジオックス(東京都荒川区、藤本孝雄社長)

荒川区、藤本孝雄社長は、カナデンブレインのLPG統合情報管理システム『スーパーX』の導入で、これまで事業・業

務分野ごとに分散していた管理システムを一元化し、パソコンをフル活用

することで経営のスピード強化と業務の効率化、平準化を進めているが、もう一つ、会計業務の面でも大きな改革を加えている。

経営システムにオービックビジネスコンサルティング(OBC)の財務

積し、月次締めが完了した時点で部門、商品、担当者別の予算実績対比、一次粗利と予算対比など

重に行う必要があるが『勘定奉行』への入力作業が大幅に削減され、入カミスを防ぐことができた。連携を完了した時点で経理システムでは総勘定元帳や合計残高試算表などの各種財務諸表を出

力できるようになる。『勘定奉行』の活用はこれにとどまらない。『スーパーX』では経

理システムにオービックビジネスコンサルティング(OBC)の財務

入力、これまで事業・業務分野ごとに分散していた管理システムを一元化し、パソコンをフル活用

することで経営のスピード強化と業務の効率化、平準化を進めているが、もう一つ、会計業務の面でも大きな改革を加えている。

経営システムにオービックビジネスコンサルティング(OBC)の財務

積し、月次締めが完了した時点で部門、商品、担当者別の予算実績対比、一次粗利と予算対比など

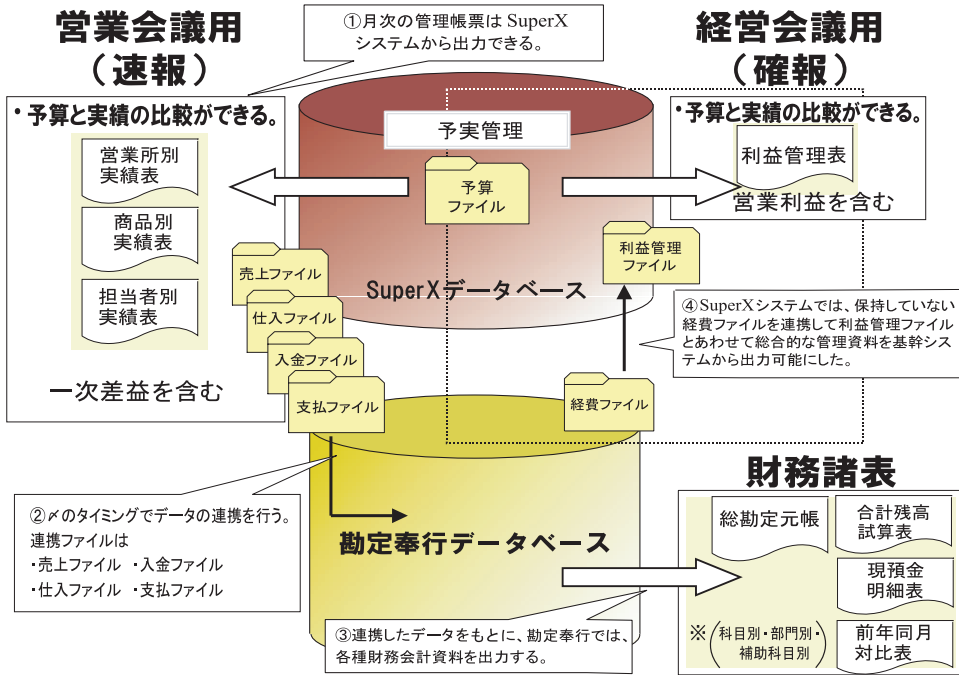
重に行う必要があるが『勘定奉行』への入力作業が大幅に削減され、入カミスを防ぐことができた。連携を完了した時点で経理システムでは総勘定元帳や合計残高試算表などの各種財務諸表を出

力できるようになる。『勘定奉行』の活用はこれにとどまらない。『スーパーX』では経

理システムにオービックビジネスコンサルティング(OBC)の財務

入力、これまで事業・業務分野ごとに分散していた管理システムを一元化し、パソコンをフル活用

『スーパーX』と『勘定奉行』のシステム連携フロー



フジオックス本社

では、売上、仕入、入金、支払いの各データが発生時点でパソコンに入力・集

会計業務を迅速処理 企業価値高め創業80周年へ

「スーパーX」と「勘定奉行」をデータ連携し、

入力、入金、仕入、支払いの各データが発生時点でパソコンに入力・集

重に行う必要があるが『勘定奉行』への入力作業が大幅に削減され、入カミスを防ぐことができた。連携を完了した時点で経理システムでは総勘定元帳や合計残高試算表などの各種財務諸表を出

力できるようになる。『勘定奉行』の活用はこれにとどまらない。『スーパーX』では経

理システムにオービックビジネスコンサルティング(OBC)の財務

入力、これまで事業・業務分野ごとに分散していた管理システムを一元化し、パソコンをフル活用

することで経営のスピード強化と業務の効率化、平準化を進めているが、もう一つ、会計業務の面でも大きな改革を加えている。

積し、月次締めが完了した時点で部門、商品、担当者別の予算実績対比、一次粗利と予算対比など

重に行う必要があるが『勘定奉行』への入力作業が大幅に削減され、入カミスを防ぐことができた。連携を完了した時点で経理システムでは総勘定元帳や合計残高試算表などの各種財務諸表を出

力できるようになる。『勘定奉行』の活用はこれにとどまらない。『スーパーX』では経

理システムにオービックビジネスコンサルティング(OBC)の財務